

森林ふれあい推進事業  
～悠久のブナの森と千年クロベに出会うロングトレッキング～  
実施報告書

本トレッキングイベントは、一般の方々に森林とのふれあいの場を提供することを目的とし、東北森林管理局と「NPO 法人くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所」が連携し、宮城県栗原市の栗駒山周辺にて平成27年11月2日に実施されました。

行程は、はじめに平成20年の岩手・宮城内陸地震で被災し、林野庁が復旧工事を行った冷沢治山工事箇所を見学した後、世界谷地入口駐車場からトレッキングを開始し、くりこま自然学校のガイドの説明を受けながら栗駒古道コースをたどり、千年クロベを見学し、湯浜温泉に到着しトレッキング終了というものでした。

トレッキングコースは非常に長く、あいにくの天候で午後からは雨降りとなりましたが、栗駒のブナ林の素晴らしさを感じながら、また栗駒古道に関する歴史についても学びながら、参加者11名全員が最後まで歩きとおすことができました。また、本イベントのハイライトの一つである千年クロベは想像以上に迫力があり、歩き続けた疲れを束の間忘れさせてくれる素晴らしいものでした。



人々の暮らしを守る冷沢治山工事について、宮城北部森林管理署の職員が分かりやすく説明。



くりこま自然学校のガイドの方の説明は、自然から文化や歴史まで多岐に渡り本当に興味深く、参加者の皆さんも興味津々で説明に聞きいってました。



迫力満点の千年クロベと記念写真。とても喜んでもらえました。なんといってもこのどっしり感がたまりません。推定樹齢千年！



最後の方は雨のなかひたすら歩きましたが、それでも「栗駒のブナ林は良い」と言って頂けたのが嬉しかったです。皆さん本当にお疲れ様でした。

(緑の普及係 吉田)